



第5回ワダイの防災ジオツアーが三越地区にて開催されました

～ みだれた地形がおりなす地景 ～

～紀伊山系砂防事務所～

「みだれた地形がおりなす地景」をテーマにした、第5回ワダイの防災ジオツアーを和歌山大学と共同で開催しました。今回は、平成23年台風12号により、大規模な斜面崩壊が発生した三越川（田辺市本宮町）について、和歌山大学災害科学教育研究センターから現地の地質や土砂崩れの歴史などについての解説があり、その後、事務所職員が対策工事の進捗状況についての説明を行いました。参加者は、崩壊前後の写真を見比べ、地形の変化について熱心に質問したり、地層などに見入ったりされていました。

講師(和歌山大学 後誠介客員教授)による崩壊発生の原因解説



崩壊前と崩壊後の三越川の状況説明



みだれた地形・地質構造が生み出した地景の解説



紀伊山系砂防事務所職員による現地説明



熱心に現地の施工について質問をする参加者



実施場所位置図



開催日：平成30年3月17日(土)10時～11時30分

場所：三越川(和歌山県田辺市本宮町)

主催：和歌山大学災害科学教育研究センター
国土交通省近畿地方整備局

参加者：ツアー客24名 ジオパークガイドスタッフ 6名

見学会ではこんな質問が…



三越地区は鋼製かご枠を使っていますが、なぜコンクリート護岸にしないのでしょうか？



崩落箇所等に降った雨などの浸透水を河川に流出しやすくするために透水性の良い鋼製かご枠を使用しています。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山系砂防事務所 工務課



〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111 (代)